

令和6年度 第77回札幌市中学校体育連盟陸上競技選手権大会要項
兼第51回全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録突破指定大会（四種競技）

1. 名称 令和6年度 第77回 札幌市中学校体育連盟陸上競技選手権大会
2. 主催 札幌市中学校体育連盟 札幌市教育委員会 札幌市中学校長会
3. 主管 札幌市中学校体育連盟陸上競技専門委員会 札幌市中学校体育連盟陸上競技実行委員会
4. 後援 札幌市 札幌市PTA協議会 札幌陸上競技協会
5. 日時 令和6年6月29日（土） 9：00～
30日（日） 9：00～
6. 場所 札幌市円山陸上競技場 〒064-0959 札幌市中央区宮ヶ丘3番地 TEL011-641-3015
7. 種目 男子13種目
100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 110mH
走高跳 棒高跳 走幅跳 砲丸投(5kg)
四種競技 (①110mH ②砲丸投(4kg) ③走高跳 ④400m) 4×100mR
女子10種目
100m 200m 800m 1500m 100mH 走高跳 走幅跳 砲丸投
四種競技 (①100mH ②走高跳 ③砲丸投 ④200m) 4×100mR
8. 参加資格 (1)本連盟に加入する札幌市内中学校、中等教育学校、義務教育学校に在籍する生徒で、当該学校長が出場を認めた者。
(2)年齢は平成21年4月2日以降に生まれたものに限る。
(3)年齢が前項の制限を越えて参加を希望する場合は、令和6年5月末日までに中体連会長へ申し出て、所定の手続きを行うこと。
(4)参加生徒の引率者及び監督は、当該学校の学校長・教員（養護教諭も含む）・部活動指導員・外部指導者とする。但し、外部指導者の引率については、学校事情により、学校長・教員・部活動指導員が引率できないと学校長が判断した場合に適用される。
(5)監督・引率者は、部活動の指導中の暴力等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。外部指導者は校長から暴力等による指導措置がないこと。
(6)外部指導者は校長が認めた者で札幌市中学校体育連盟に登録された者とする。
(7)学校教育法第134条の各種学校（第1条に掲げるもの以外）と地域クラブ活動の参加を認める。但し、詳細については、札幌市中学校体育連盟内規「札幌市中学校体育連盟各種大会における参加の特例<1>」による。
(8)各種学校から出場する場合、チームは単一学校の生徒で編成されたものとする。
(9)札幌市中学校体育連盟選手権大会の他競技に出場していない生徒。但し、以下の項目については認める。
①夏季種目と冬季種目の重複は認める。
②相撲は奨励種目として重複を認める。但し、全道大会出場資格を得た場合は陸上競技を優先する。
(10)参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。
(11)地域クラブ活動に所属する中学生
①地域クラブ活動に所属し、札幌市中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
②札幌市中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
A 札幌市中学校体育大会の参加を認める条件
ア 札幌市中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致していること（中学校に在籍している生徒であること）。
ウ 地域クラブ活動にあつては、日常的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに適切に行われていること。
エ 『札幌市立学校に係る部活動の方針』（平成31年3月札幌市教育委員会発出）に従って、特に「6 生徒・教職員双方の負担を踏まえた部活動基準の設定等（3）札幌市立学校における部活動活動基準」を遵守していること。

- オ 当該競技を管轄する各地区競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で地区中学校体育連盟に登録していること。
- カ 札幌市における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
- キ 地域クラブ活動で北海道中学校陸上競技選手権大会および全日本中学校陸上競技選手権大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
- B 札幌市中学校体育連盟選手権大会に参加した場合に守るべき条件
- ア 札幌市中学校体育連盟選手権大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 札幌市中学校体育連盟選手権大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- ウ 札幌市中学校体育連盟選手権大会への参加に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。
- C 参加を認めない場合
- ア 札幌市中学校体育連盟選手権大会の参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

③札幌市中学校体育連盟選手権大会参加の特例細則

在籍している学校の所属、または日本陸上競技連盟に登録をしている地域クラブ活動の所属のいずれかで参加できる。いずれの場合も、在籍している学校が所在する市町村（※）より、標準記録突破指定大会、全日本中学校陸上競技選手権大会に参加する。

ルールは、「移行地域移行地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」又は登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブ活動の所属で参加することができる。複数の種目（リレーを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。

標準記録突破指定大会、および全日本中学校陸上競技選手権大会には同一の所属団体から出場しなくてはならない。

（※）以下の2つの要件を満たす場合は、地域クラブ活動の登録所在地の市町村より参加することができる。

- ①「地域移行移行地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」又は「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」に在籍している場合
- ②在籍している学校に希望する部活動がないこと等の場合において、北海道中学校体育連盟が市町村をまたいだ大会参加を認めている場合

■「地域移行の受け皿となり地域クラブ活動」の定義について（北海道中体連）
「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」とは、当該団体が在籍地等の教育委員会や学校等と連携しながら、地域移行に向けて取組を進めているクラブ（教育委員会の承認が必要）のことであり、複数のチームから一部の選手のみを選抜した形で作るような地域クラブ活動を意味するものではないこと。

【該当競技・該当種目】

- ・陸上競技リレー ・陸上競技駅伝 ・体操団体 ・新体操団体 ・卓球団体 ・剣道団体
- ・バスケットボール（バスケットボールについては、本競技細則の内容に則ること）

※：各市町村教育委員会と連携し、域内の学校部活動の地域移行に向けた具体的な取り組みに日常的に参画したり、学校部活動を地域移行させるための団体として指定したりしている団体であること。

※：域内の中学校の生徒が所属している団体であるということのみを持ってして、「地域移行の受け皿」であるということには該当しないこと。

9. 出場制限

- (1) 1人2種目以内。但し、リレーを除く。
- (2) 出場種目において、本大会参加標準記録（次頁）を突破していること。ただし、参加標準記録は令和5年6月1日から本大会申込までの公認大会におけるものとする。
- (3) 四種競技においては、2種目以上で標準記録を突破していれば出場できる。
- (4) 上記(2)(3)以外に各団体1種目2名の参加を認める。
- (5) リレーについて、団体ごとに男女それぞれ1チームとする。
- (6) 地域クラブ活動のリレー出場については本要項内8-(11)-③の内容を確認すること。
- (7) リレーについては参加標準記録を定めない。

(8)複数の種目（リレーを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。

(9)本大会の参加標準記録は以下の通りとする。

種目	男子	女子
100m	12" 25	13" 60
200m	25" 45	28" 70
400m	58" 74	—
800m	2' 18" 00	2' 35" 00
1500m	4' 45" 00	5' 20" 00
3000m	10' 25" 00	—
100mH	—	18" 00
110mH	18" 94	—
4×100mR	1団体1チーム	1団体1チーム
走高跳	1m 50	1m 35
棒高跳	2m 30	—
走幅跳	5m 20	4m 45
砲丸投	8m 50	8m 50
四種競技	1350点 または、2種目以上で各種目の標準記録を突破していること	1650点 または、2種目以上で各種目の標準記録を突破していること

10. 競技方法 (1)2024年度 日本陸上競技連盟の規則で行う。

11. 表彰 (1)各種目8位まで賞状を授与し、3位までメダルを与える。表彰式は行わないため、各学校の引率者を通じて賞状を受け取ること。
(2)大会新記録を樹立した者には、新記録賞を授与する。

12. 申し込み (1)**6月7日(金)まで**にアスリートランキングから申し込みをおこなう。
(2)締切り日を過ぎるとエントリーは一切できない。
(3)エントリーの時、公認記録を有する選手およびリレーチームは**必ず『資格記録』に入力**すること。**公認記録のみ入力可能**とする。**リレー種目も忘れずに入力**すること。
(4)選手のエントリーと併せて『審判登録』を必ずアスリートランキングの**審判登録の欄に入力**すること。
(5)中学校においては、申し込み一覧表の代表者名は**学校長**とし、**職印**を押すこと。
(6)地域クラブ活動においては、申し込み一覧表の代表者名および押印は**団体代表者**とする。

13. 参加負担金 1人 **800円** リレー1チーム **1,800円** (リレーのみの選手の負担金は不要)

(1)**6月7日(金) 必着**で以下の方法により提出および納入すること。
(2)提出するもの(以下3点) **①申込一覧表 ②参加負担金(参加料) ③送金連絡票**
(3)申込一覧表及び送金連絡票は**庁内メール、あるいは郵送にて専門委員長に提出**すること。
(4)参加負担金の納入は**銀行振込**とする。振込先は以下の通りとする。

北海道銀行 白石支店 (店番号156) 普通 1416725 陸上競技大会 実行委員長 高橋利幸 リクジョウキョウギタイカイ ジョウクウインチョウ タバトシユキ
--

(5)振込の際の注意事項

- ①振込の「**依頼人名**」は**必ず団体名の略称(例：清田中)**とすること。
- ②振込手数料は参加する団体の負担とする。
- ③リレーのみに出場する選手の個人の負担金は必要ない。
- ④領収証は大会当日に発行する。
- ⑤金額に誤りがないか必ず確認すること。
- ⑥送金連絡票の書式に従い、「**通信陸上参加料**」を合算して振り込むこと。

14. 観戦者(保護者)の来場について

(1)**観戦者(保護者)の入場は8:00以降**とする。
(2)場内の駐車場は競技役員専用となるため、**観戦者(保護者)の駐車はできない**。

- (3)来場する場合はできる限り公共交通機関を利用すること。自家用車で来場する場合は近隣の有料駐車場を利用すること。競技場周辺での路上駐車、無断駐車は絶対にしないこと。
- (4)大会本部および円山陸上競技場は、いかなる事故、トラブルにも責任を負わない。
- (5)観戦できる場所は「スタンド席」のみとする。
- (6)芝スタンド、招集所、大会本部など、選手及び競技役員が使用する場所への立ち入りを禁止する。
- (7)観戦者（保護者）の出入り口は、北小ゲートおよび南小ゲートとする。保護者が利用できるトイレは、北大ゲート（100メートル側）トイレのみとする。
- (8)競技場内においては競技役員および大会本部の指示に従うこと。
- (9)肖像権保護および盗撮防止の視点により、子以外の写真およびビデオ等動画の撮影は控えること。撮影できる場所は、15-(5)に示す観戦エリア内のみとする。
- (10)トラック種目のスタート時および準備動作中に撮影することはできない。
- (11)望遠レンズやフラッシュ撮影、赤外線撮影装置を利用した撮影、およびドローンによる撮影を禁止する。三脚や自撮り棒を使用しての撮影は、他の観客の迷惑になる場合があるので配慮すること。
- (12)競技と関係のない目的での撮影、身体の一部をアップしての撮影、透過撮影、その他迷惑行為を禁止する。競技場内で撮影した全ての画像、動画は、大会本部にて確認させていただく場合がある。
- (13)撮影した画像、動画の販売および営利目的の利用を禁止する。
- (14)競技者および競技者の保護者等の承諾を得ずに撮影したり、撮影した画像、動画をWeb上にアップロードしたりすることを禁止する。

15. 個人情報の取り扱いについて

- (1)大会参加者の氏名・所属・学年は、大会運営のために必要なプログラム、ホームページ、掲示板、報道発表、大会結果記録速報および札幌市中体連記録集「青春の軌跡」へ記載のために利用する。
- (2)選手の生年月日は、出場資格等で年齢を確認しなければならない場合は取得する。

16. その他

- (1)アスリートビブス・腰ゼッケンは各団体で用意する。（選手のアスリートビブスナンバーについて、中学校は4000～8999までの各校に割り振っている番号を使用すること。また、地域クラブ活動は団体ごとに割り振っているC1以降の番号を使用すること。）
- (2)各団体の監督および引率者は、審判員として競技運営にあたること（団体ごとに氏名および希望の役職をアスリートランキング上で報告すること）。
- (3)各団体の監督及び引率者は、大会当日は競技運営にあたるため、引率する生徒への事前指導を徹底すること。
- (4)全道大会種目に優勝した者、および「全道大会標準記録」を突破した者は全道大会への出場資格を得る。
- (5)フィールド種目（走幅跳・砲丸投）には、下記のように予選通過ラインを設ける。予選通過ラインは当日の気象条件によって変更することもあり得る。
- (6)外部指導者にも審判など競技運営に協力していただくことがある。
- (7)800m、3000mは安全面を考慮して階段スタートとする場合がある。
- (8)1500m、3000mで周回遅れになった場合は、競技を中止させる場合がある。
- (9)共通四種競技については、全日本中学校陸上競技選手権大会の指定大会とし、標準記録を突破すると全日本中学校陸上競技選手権大会の出場資格を得ることができる。
- (10)生徒保護の観点から試合内容をYouTubeを含むSNSへの掲載を禁止する。

予選通過ラインおよび最初の高さ

走幅跳	共通男子	5m70	共通女子	4m65
走高跳	共通男子	1m41	共通女子	1m20
		(男子1m61 女子1m40以後 3cm上げ)		
	四種男子	1m25	四種女子	1m10
砲丸投	共通男子	8m00	共通女子	8m00
棒高跳		2m10 (20cm上げ 2m60以後10cm上げ)		

* 予選通過ラインおよび最初の高さについては、参加者の状況を見て参加申し込み後の専門主任会で検討し変更する場合がある。